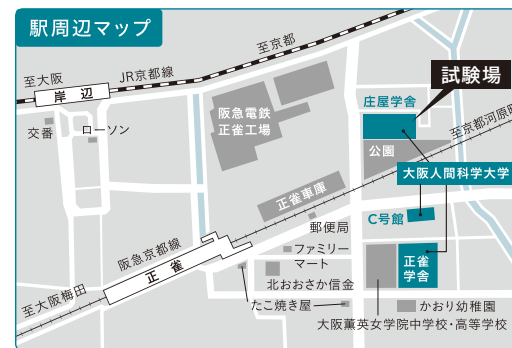
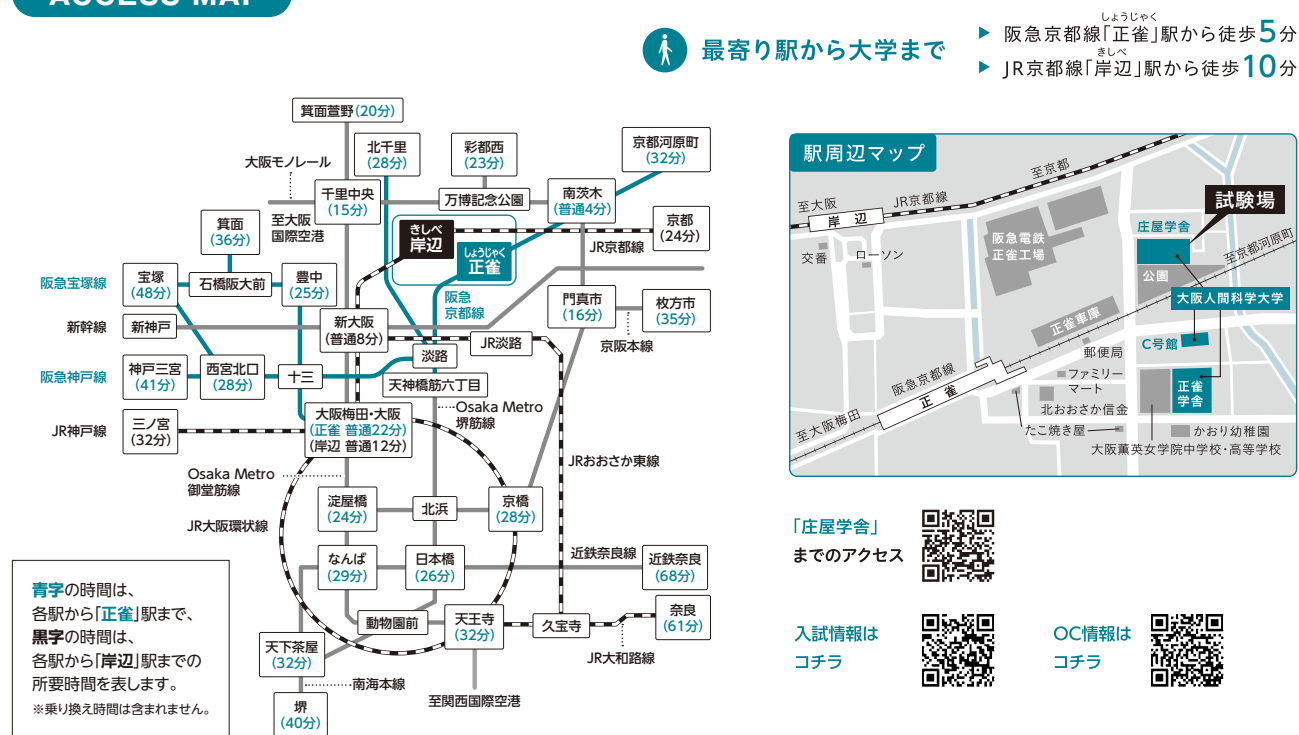


Osaka University of Human Sciences The Graduate School of Human Sciences

令和8年度(2026年度)
学生募集要項

人間科学研究科
人間科学専攻
修士課程
(2年課程)

ACCESS MAP



「庄屋学舎」
までのアクセス



入試情報は
コチラ



OC情報は
コチラ



成長に、本気。
大阪人間科学大学
大学院 人間科学研究科

人間科学専攻 修士課程(2年課程)〈心理学専門職コース・心理学総合コース〉

〒566-8501 大阪府摂津市正雀1-4-1 TEL.06-6381-3000(代表) TEL.06-6318-2020(入試広報センター) <https://www.ohs.ac.jp/>

学校法人 薫英学園
大阪人間科学大学
大学院 人間科学研究科

トピックス

■「公認心理師」受験資格取得について

心理学専門職コースは、公認心理師試験の受験を目指す者に限ってその教育課程を提供します。したがって、心理学専門職コースの入学生は卒業した大学（出身大学）において、公認心理師法施行規則に規定する大学における公認心理師となるために必要な科目を履修した者（複数の大学等で履修した科目を合算することはできない）であることが要求されます。この履修証明に関して、出願時に出身大学における「履修証明書」若しくは「履修見込み証明書」の提出が必要となります。（出願時に履修見込みで出願した者は、「履修証明書」を入学時に提出してください。）※大学院入学時に「履修証明書」が提出できない場合は入学を取り消します。

■長期履修制度（P.14 参照）

本大学院は長期履修制度を導入しています。長期履修制度とは、職業を有する等の事情により、年間に履修できる単位数や研究・学習活動に充てられる時間が限られているため、標準修業年限（2年）では大学院の教育課程の履修が困難な学生を対象に、3年又は4年の期間にわたり、計画的に教育課程を履修し修了することにより、学位の取得を可能とする制度です。長期間でマイペースに学べ、無理せず仕事等と大学院の両立ができ、じっくり時間をかけて学んでいただけます。

入学定員

研究科・専攻・課程・コース	入学定員	募 集 人 数					
		一般選抜		社会人選抜		内部進学	
		I 期	Ⅱ 期	I 期	Ⅱ 期	I 期	Ⅱ 期
人間科学研究科 人間科学専攻 修士課程（2年課程） 〈心理学専門職コース・心理学総合コース〉	10名	10名					

「公認心理師」の受験資格を得ることを希望する者は、「心理学専門職コース」に出願してください。

令和8年度（2026年度）入試スケジュール

一 般 選 抜

入 試 種 別	一般選抜（Ⅰ期）	一般選抜（Ⅱ期）
試 験 日	令和7年9月13日（土）	令和8年2月14日（土）
出 願 期 間	令和7年8月22日（金）～9月4日（木） （9月4日消印有効）	令和8年1月23日（金）～2月5日（木） （2月5日消印有効）
試 験 場	本 学（庄屋学舎）	
出 願 区 分	他大学院との併願可	
選 考 方 法	筆記試験（専門・英語）・面接（個人面接）	
合 格 発 表	令和7年9月18日（木）	令和8年2月19日（木）
入 学 手 続	1次（入学金） 令和7年10月3日（金）まで 2次（授業料等）令和7年10月17日（金）まで	令和8年2月27日（金）までに 所定の入学手続時納入金を全額納入

社 会 人 選 抜

入 試 種 別	社会人選抜（Ⅰ期）	社会人選抜（Ⅱ期）
試 験 日	令和7年9月13日（土）	令和8年2月14日（土）
出 願 期 間	令和7年8月22日（金）～9月14日（木） （9月4日消印有効）	令和8年1月23日（金）～2月5日（木） （2月5日消印有効）
試 験 場	本 学（庄屋学舎）	
出 願 区 分	他大学院との併願可	
選 考 方 法	筆記試験（専門）・面接（個人面接）	
合 格 発 表	令和7年9月18日（木）	令和8年2月19日（木）
入 学 手 続	1次（入学金） 令和7年10月3日（金）まで 2次（授業料等）令和7年10月17日（金）まで	令和8年2月27日（金）までに 所定の入学手続時納入金を全額納入

※合否結果は、合格発表日の18:00から出願ページ（Post@net）で確認できます。（P.11 参照）

大阪人間科学大学大学院 人間科学研究科におけるポリシー

アドミッション・ポリシー （本研究科が求める人物像）

- 心理学に関連する基礎知識と十分な基礎学力及び社会人基礎力を備えている者。
- 人びとの健康の回復、維持、そしてその増進に寄与する志向を持つ者。
- 研究を実践に活用して社会に貢献する意欲を有している者。

心理学専門職コース

□対象とする（求める）人物像
行動科学の深い知見と実践力を通して、人びとの健康の回復、維持、そして増進を担うことを目指す意欲のある人を求めます。
将来は公認心理師資格を取得し、心理カウンセリングの技法はもとより認知行動療法、応用行動分析、ストレスカウンセリング、解決志向アプローチなどのセラピーに通じた心理専門職として社会貢献することを目指してください。

心理学総合コース

□対象とする（求める）人物像
看護師、保健師、教員、その他人びとの健康に関連する現場において、すでに活躍していて対人援助のスキルアップを目指す人や、心理学の研究を継続したい人を求めます。
人びとの活動に対する視野を広げて業務実践に役立つための研究力を高めたいという方に目指してほしいと考えています。

カリキュラム・ポリシー

人間科学に関する幅広い領域における知識の習得と実践活動を通して、研究を継続できる力を養い、個々の専門領域における高度な知識と実践力を修得し、社会に役立つ専門性の獲得ができるように教育課程を構成している。

ディプロマ・ポリシー

人間科学の諸領域における研究と実践に関する単位を修得したものについて、個々の専門領域の指導教授のもとに研究テーマを設定および計画をし、所定の様式で修士論文を著し、最終試験に合格したものに修士（人間科学）の学位を授与する。

心理学専門職コース

□臨床発達心理学の高度な学識を有し、理論のみならず臨床における実践力を形成するとともに深い人間性に基づいた人間理解ができることを修了条件とする。「高度な学識」とは、臨床発達心理学の専門的知識と関連学問領域における豊富な知見を持ち、科学性をもとにした研究成果を示せる能力を有することであり、「理論と臨床の実践力」とは、人びとの心身の発達を支援するためのアセスメント、カウンセリング、関連機関との連携を有効に行える理論と実践的な資質を有することであり、「深い人間性に基づいた人間理解」とは、対人支援に必要な共感力、コミュニケーション力、多面的及び全人格的視野に基づいた他者理解のスキルを有することである。

心理学総合コース

□健康心理学、医学、精神保健学、看護学、教育学などの健康に関連する学問領域への幅広い知見と実践力を持ち、蓄積された研究を更に深めることで、研究成果を社会に示し貢献する能力を有していることを修了条件とする。「健康に関連する学問領域への幅広い知見」とは、健康心理学と関連学問領域の関係性を理解し広範な知識を応用する科学的視野を有することであり、「実践力」は健康教育活動に従事し社会に寄与しうる対人支援のスキルを有することであり、「研究成果を社会に示し貢献する能力」とは、自らの創造性と知識をもとに見出した研究成果を社会において応用実践する能力を有することである。

一 般 選 抜

出願資格・条件

次の①～⑥のいずれかに該当する者で、⑦⑧を充たす者（他大学院との併願可）

①大学を卒業した者及び令和8年3月までに卒業見込みの者

②学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者及び令和8年3月までに授与される見込みの者

③外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び令和8年3月までに修了見込みの者

④専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を充たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和8年3月までに修了見込みの者

⑤文部科学大臣の指定した者

⑥本大学院において、個別入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達した者又は令和8年3月31日までに22歳に達する者

※上記⑥により、出願を希望する者については、出願に先立ち個別入学資格審査を行いますので、入試広報センターに問い合わせてください。

⑦本大学院のアドミッション・ポリシー（本研究科が求める人物像）を十分に理解している者

⑧「心理学専門職コース」に出願する者については、公認心理師法施行規則に規定する大学における公認心理師となるために必要な科目の単位を履修した者若しくは大学院入学までに履修見込みの者（複数の大学等で履修した科目を合算することはできません。また、本大学院入学時に「履修証明書」が提出できない場合は入学を取り消します。）

※外国の学校教育課程の年数や取得した学位の取扱い、外国の大学の履修（見込）専門科目の取扱い等、不明な点がある場合は事前に入試広報センターにお問い合わせください。なお、日本の中学校及び高等学校を卒業した者以外は、日本語能力検定N1「認定結果及び成績に関する証明書」の写しの提出が必要となります。

入 試 日 程

入試種別	出願期間	試験日	試験場	集合時間
I 期	令和7年8月22日(金)～9月4日(木) (9月4日消印有効)	令和7年 9月13日(土)	本 学 (庄屋学舎)	9:40 までに着席
II 期	令和8年1月23日(金)～2月5日(木) (2月5日消印有効)	令和8年 2月14日(土)		

選 考 方 法

本大学院が実施する筆記試験（専門・英語）の得点と、面接（個人面接）の得点による集計点で可否を判定します。

選考方法	配 点	時 間
筆記試験（専門）	100 点	10:00 ～ 11:30
筆記試験（英語）	100 点	12:00 ～ 13:00
面接（個人面接）	100 点	13:30 から順次実施

試験内容について

試 験	内 容
専 門	専門に関する小論文の作成
英 語	専門書を読解する語学力をみます。（英語の文章を読み、設問について日本語で解答） 紙媒体の辞書のみ持ち込み可
面 接	提出された研究計画書又は研究成果を中心に行います。

出 願 書 類

P.7 ～ P.10 を参照し、出願登録の完了、検定料を支払った後、下記の①～⑥を市販の角2封筒に入れ、封筒貼付用宛名ラベルを貼り付けて、簡易書留の速達で郵送してください。

①入学志願票 インターネット出願サイトから印刷したもの。

②卒業証明書 出身学校の卒業証明書
卒業見込の場合は、卒業見込証明書を提出してください。

③成績証明書 出身学校の成績証明書

④卒業論文の要旨 本大学院所定の用紙*を用いて、卒業論文の概要を記入してください。
卒業論文を書いていない場合は、これまでの研究成果の概要を記入してください。

⑤研究計画書 本大学院所定の用紙*を用いて、大学院入学後の研究計画の概要を記入してください。

⑥公認心理師試験科目履修（見込）証明書（「心理学専門職コース」出願者のみ）
公認心理師法施行規則に規定する大学における公認心理師となるために必要な科目の単位を履修したことを証明する履修証明書、履修見込みの場合は、履修見込み証明書を本大学院所定の用紙*を用いて提出してください。
（複数の大学等で履修した科目を合算することはできません。また、本大学院入学時に「履修証明書」が提出できない場合は入学を取り消します。）

※本大学院所定の用紙については本学ホームページからダウンロードしてください。（公認心理師法施行規則附則第三条に規定する科目の履修証明書様式が必要な場合は、事前に入試広報センターにお問い合わせください。）

合 格 発 表

可否結果の照会は合格発表日の18:00から出願ページ（Post@net）で確認することができます。
合格者には「合格通知書」及び「入学書類類」を送付します。不合格については出願ページ（Post@net）上の可否結果照会での発表をもってこれに代えますので、「不合格通知書」の送付は行いません。（P.11 参照）

入試種別	合格発表
I 期	令和7年9月18日(木)
II 期	令和8年2月19日(木)

入 学 手 続

下記の納入期限までに、所定の入学手続時納入金を納入してください。（P.13参照）
なお、納入方法及び書類類の提出の詳細については、入学書類類送付の際にお知らせします。

入試種別	種 別	納入期限
I 期	1 次（入 学 金）	令和7年10月3日(金)まで
	2 次（授業料等）	令和7年10月17日(金)まで
II 期	1 次（入 学 金）・2 次（授業料等）	令和8年2月27日(金)まで

社 会 人 選 抜

出願資格・条件

次の①又は②の条件を充たし、③～⑧のいずれかに該当する者で、⑨⑩を充たす者(他大学院との併願可)

①出願時までには2年以上の社会福祉施設・医療機関・国及び地方公共団体・教育・研究機関・一般企業の就業経験を有する者

②本大学院において①と同等以上の資格があると認めた者

③大学を卒業した者及び令和8年3月までに卒業見込みの者

④学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者及び令和8年3月までに授与される見込みの者

⑤外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び令和8年3月までに修了見込みの者

⑥専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を充たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和8年3月までに修了見込みの者

⑦文部科学大臣の指定した者

⑧本大学院において、個別入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達した者又は令和8年3月31日までに22歳に達する者

※上記⑧により、出願を希望する者については、出願に先立ち個別入学資格審査を行いますので、入試広報センターに問い合わせてください。

⑨本大学院のアドミッション・ポリシー(本研究科が求める人物像)を十分に理解している者

⑩「心理学専門職コース」に出願する者については、公認心理師法施行規則に規定する大学における公認心理師となるために必要な科目の単位を履修した者若しくは大学院入学までに履修見込みの者(複数の大学等で履修した科目を合算することはできません。また、本大学院入学時に「履修証明書」が提出できない場合は入学を取り消します。)

※外国の学校教育課程の年数や取得した学位の取扱い、外国の大学の履修(見込)専門科目の取扱い等、不明な点がある場合は事前に入試広報センターにお問い合わせください。なお、日本の中学校及び高等学校を卒業した者以外は、日本語能力検定N1「認定結果及び成績に関する証明書」の写しの提出が必要となります。

入 試 日 程

入試種別	出願期間	試験日	試験場	集合時間
I期	令和7年8月22日(金)～9月4日(木) (9月4日消印有効)	令和7年 9月13日(土)	本 学 (庄屋学舎)	9:40 までに着席
II期	令和8年1月23日(金)～2月5日(木) (2月5日消印有効)	令和8年 2月14日(土)		

選 考 方 法

本大学院が実施する筆記試験(専門)の得点と、面接(個人面接)の得点による集計点で合否を判定します。

選考方法	配 点	時 間
筆記試験(専門)	100点	10:00～11:30
面接(個人面接)	100点	12:00から順次実施

試験内容について

試 験	内 容
専 門	専門に関する小論文の作成
面 接	提出された研究計画書又は研究成果を中心に行います。

出 願 書 類

P.7～P.10を参照し、出願登録の完了、検定料を支払った後、下記の①～⑦を市販の角2封筒に入れ、封筒貼付用宛名ラベルを貼り付けて、簡易書留の速達で郵送してください。

①入学志願票 インターネット出願サイトから印刷したもの。

②卒業証明書 出身学校の卒業証明書
卒業見込の場合は、卒業見込証明書を提出してください。

③成績証明書 出身学校の成績証明書

④卒業論文の要旨 本大学院所定の用紙*を用いて、卒業論文の概要を記入してください。
卒業論文を書いていない場合は、これまでの研究成果の概要を記入してください。

⑤研究計画書 本大学院所定の用紙*を用いて、大学院入学後の研究計画の概要を記入してください。

⑥履 歴 書 本大学院所定の用紙*を用いてください。

⑦公認心理師試験科目履修証明書(「心理学専門職コース」出願者のみ)
公認心理師法施行規則に規定する大学における公認心理師となるために必要な科目の単位を履修したことを証明する履修証明書、履修見込みの場合は、履修見込み証明書を本大学院所定の用紙*を用いて提出してください。
(複数の大学等で履修した科目を合算することはできません。また、本大学院入学時に「履修証明書」が提出できない場合は入学を取り消します。)

※本大学院所定の用紙については本学ホームページからダウンロードしてください。(公認心理師法施行規則附則第三条に規定する科目の履修証明書様式が必要な場合は、事前に入試広報センターにお問い合わせください。)

合 格 発 表

合否結果の照会は合格発表日の18:00から出願ページ(Post@net)で確認することができます。合格者には「合格通知書」及び「入学手続書類」を送付します。不合格については出願ページ(Post@net)上の合否結果照会での発表をもってこれに代えますので、「不合格通知書」の送付は行いません。(P.11参照)

入試種別	合格発表
I期	令和7年9月18日(木)
II期	令和8年2月19日(木)

入 学 手 続

下記の納入期限までに、所定の入学手続時納入金を納入してください。(P.13参照)
なお、納入方法及び手続書類の提出の詳細については、入学手続書類送付の際にお知らせします。

入試種別	種 別	納入期限
I期	1次(入 学 金)	令和7年10月3日(金)まで
	2次(授業料等)	令和7年10月17日(金)まで
II期	1次(入 学 金)・2次(授業料等)	令和8年2月27日(金)まで

インターネット出願の流れ

STEP1

出願に必要な書類などを準備

写真データ	出願登録を行う際、受験者本人であることを証明できる顔写真データのアップロードが必要です。 出願登録前にデジタルカメラ・スマートフォン（写真データのダウンロードや取得ができるもの）等で撮影し、顔写真データを準備してください。 ●出願前3か月以内に撮影したもの ●上半身・無帽・無背景（白・青・グレーを基調とした無地の壁） ●正面向きの写真 ●縦:600px(ピクセル)×横:450px(ピクセル) ●写真データ形式は「JPEG」(ファイル拡張子はjpg) ●写真サイズは100KB以上3MB以下
卒業証明書	出身学校の卒業証明書 卒業見込の場合は、卒業見込証明書を提出してください。
成績証明書	出身学校の成績証明書
卒業論文の要旨	本大学院所定の用紙を用いて、卒業論文の概要を記入してください。卒業論文を書いていない場合は、これまでの研究成果の概要を記入してください。
研究計画書	本大学院所定の用紙を用いて、大学院入学後の研究計画の概要を記入してください。
その他	各入試種別で必要な出願書類を準備してください。

※入試種別により、必要な書類が異なります。

出願に必要な書類に関しては、本要項又は本学ホームページで確認してください。

※本大学院所定の用紙については、本学ホームページからダウンロードしてください。

STEP2

アカウント作成、出願登録を行う



大阪人間科学大学ホームページ
<https://www.ohs.ac.jp/>



【アカウント作成】

- ① 本学ホームページにアクセスしてください。
- ② 「インターネット出願サイト」にある「出願ページへ」をクリックして出願ページ (Post@net) を開きます。
- ③ 出願ページ (Post@net) のログイン画面より「新規登録」ボタンをクリックしてください。
- ④ 利用規約に同意後、メールアドレス・パスワード・ニックネームを入力して「登録」ボタンをクリックしてください。
- ⑤ 入力したメールアドレスに、仮登録メールが届きます。
仮登録メールの受信から60分以内にメール本文のリンクをクリックして登録を完了させてください。
※ 既にアカウントを発行している場合はメールアドレスとパスワードでログインすることができます。

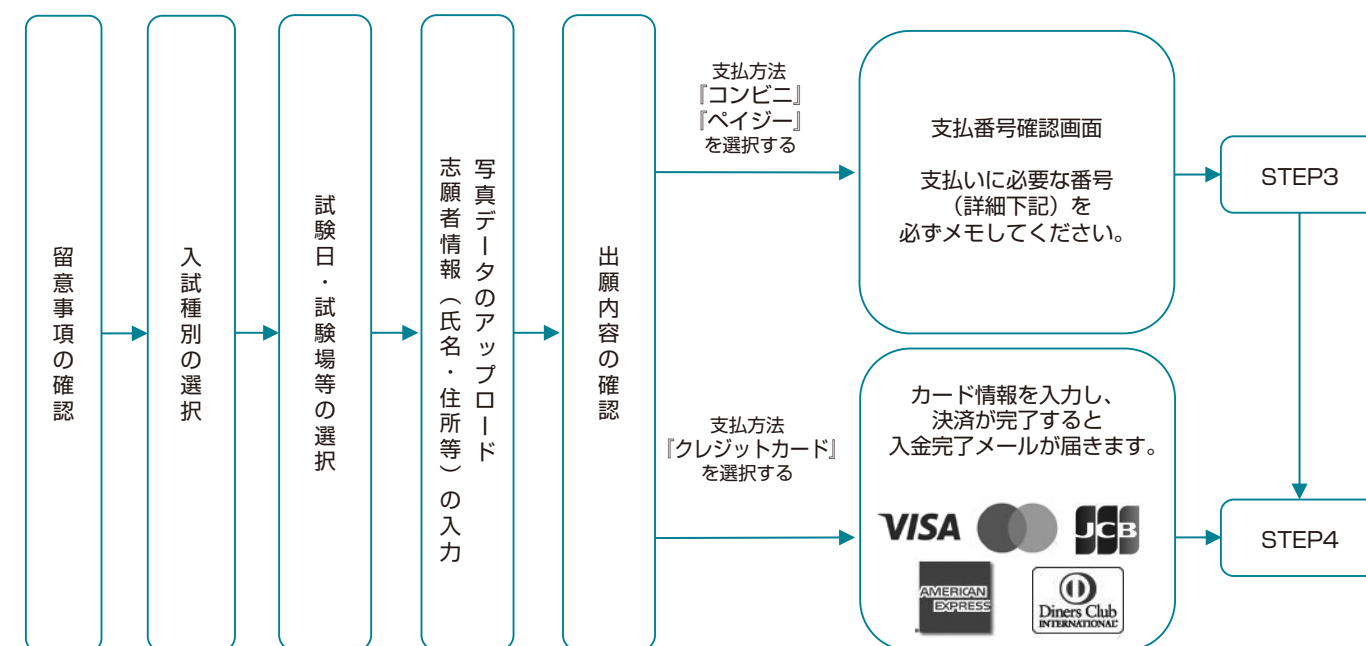
インターネット出願の流れ

- 出願ページ (Post@net) のトップ画面にある「ログイン」ボタンをクリックし、メールアドレスとパスワードを入力します。
登録したメールアドレスに認証コードが届きますので、入力しログインしてください。

- 「学校一覧」から「大阪人間科学大学」を検索してください。その際に「お気に入り登録」ボタンをクリックしてお気に入り登録をしてください。

【出願登録】

「出願登録」ボタンをクリックし、画面の指示に従って登録してください。



・写真データについて

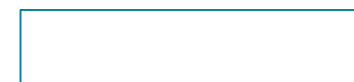
写真データのアップロードを行う際には、データ形式の確認を行った上で（P.7 **STEP1** 参照）、必要なチェック項目を登録してください。

POINT①

志願者情報の入力・確認画面では、必ず入力した内容（特に生年月日・電話番号・住所）に誤りが無いか、十分に確認してください。志願者情報の確認画面を過ぎると内容の変更ができません。修正が必要な場合は入試広報センターにお問い合わせください。
なお、コンビニ・ペイジー支払いの場合、検定料を支払う前であれば既に登録した出願情報を放棄し、もう一度、最初から出願登録を行ってください。

POINT②

支払い方法『コンビニ』『ペイジー』の場合は、支払番号確認画面に支払いに必要な番号が表示されます。STEP3 (P.9) の支払い時に必要ですので、必ずメモしてください。



インターネット出願の流れ

STEP3

検定料を支払う

(コンビニ・ペイジーを選択した場合のみ)

要注意

出願登録した翌日の23:59まで(出願登録期限日に登録した場合は当日の23:59まで)に、下記の通り検定料をお支払いください。上記の支払い期限を過ぎますと、登録された内容での検定料支払いができなくなります。

■コンビニ



お支払いになるコンビニによって操作方法が異なりますので、「学校一覧」から「大阪人間科学大学」を検索し、「はじめに」ページにある検定料のお支払方法に関する内容を参照の上、必要な情報のメモ等をし、支払い期限までに検定料を支払ってください。

■ペイジー（銀行ATM）



■ペイジー（ネットバンキング）

収納機関番号・お客様番号・確認番号を控え、各自で支払い方法を確認し検定料を支払ってください。

■払込手数料

入学検定料が3万円以上	900円(税込)
-------------	----------

- ・検定料の他に別途、払込手数料が必要です。
- ・ご利用の銀行によって、別途事務手数料が発生する可能性があります。
- ・検定料支払いの領収書は提出不要です。控えとして保管してください。

POINT③

入金が完了すると入金完了メールが通知されますので、必ず、ご確認ください。

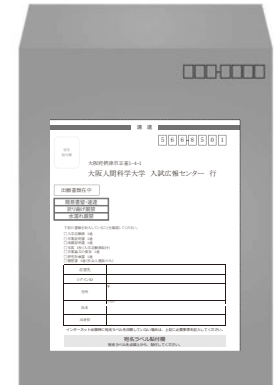
インターネット出願の流れ

STEP 4

出願書類を郵送する

入学志願票・封筒貼付用宛名ラベルを印刷

- ★支払い完了後、『出願内容一覧』から、入学志願票・封筒貼付用宛名ラベルを印刷してください。
- ★検定料の支払い後に届く、「インターネット出願 入金確認」メールに記載のURL、または出願ページ(Post@net)の「出願内容一覧」のいずれかにアクセスして入学志願票、封筒貼付用宛名ラベルをダウンロードし、ページの拡大・縮小はせずにA4で印刷してください。
- ★印刷した入学志願票と、各入試で必要な出願書類を同封して郵便局窓口から簡易書留・速達にて郵送してください。



市販の角2封筒に封筒貼付用宛名ラベルを貼り付けて必要書類を封入してください。

要注意

STEP 1～STEP 4を、すべて出願期間内に行うことによって、出願手続が完了します。(出願登録・検定料支払い・出願書類提出のいずれかが出願期間内に行われなかった場合は、出願が受け付けられません。)
※出願の期限については、「出願期間」を十分に確認の上、できるだけ余裕をもって出願してください。

送付先
〒566-8501
大阪府摂津市正雀1-4-1
大阪人間科学大学 入試広報センター 行

インターネット環境が整っていない方の出願方法

パソコン・スマートフォンなどのインターネット環境が整っていない方は、以下の2つの方法での出願が可能です。どちらかの方法を選んで出願してください。

- (1) 大阪人間科学大学へ来学し、大学のパソコンを利用して出願を行う。
 - ・大学のパソコンを利用してインターネット出願を行います。来学の際は、事前に「氏名」、「来学予定時間」、「検定料の支払方法」を入試広報センターに電話で連絡の上、お越しください。
(月～金曜日8:45～17:15 土曜日8:45～14:45 ※日・祝日及び冬季休業中を除く。)
- (2) 入学試験出願申請書を提出し、代行入力により出願を行う。
 - ・「入学試験出願申請書」を請求、提出し、代行入力によりインターネット出願を行います。「入学試験出願申請書」は入試広報センターへ電話にてご請求ください。
(月～金曜日8:45～17:15 土曜日8:45～14:45 ※日・祝日及び冬季休業中を除く。)

STEP 5

デジタル受験票を印刷する

【受験票準備】 下記手順に従ってデジタル受験票を印刷してください。

※デジタル受験票のダウンロードは、試験日が設定されている週の木曜日(9:00)から可能です。

必要書類の受理が完了し、出願期間の締切が終了した後、本学にてデジタル受験票を一括して作成します。インターネット出願時に志願者情報入力画面で入力したメールアドレス宛に「受験票ダウンロードメール」が届きます。

- ①Post@netへログインし「出願内容一覧」より大阪人間科学大学の「出願内容を確認」を選択し「デジタル受験票ダウンロード」をクリックして、PDFファイルをダウンロードします。
- ②①のPDFファイルをページの拡大・縮小はせずにA4で印刷してください。
- ③試験当日に必ず印刷したデジタル受験票を持参してください。

インターネット出願の流れ

STEP 6

合否結果の照会

- 合否結果の照会は合格発表日の18:00から出願ページ（Post@net）で確認することができます。
下記手順に従って合否結果を確認してください。

- 合格発表日に出願ページ（Post@net）へログインし、「学校一覧」から本学の「合否結果照会」を選択します。受験内容を確認し、間違いなければ「はい」をクリックして、合否結果を確認してください。

※合格者には「合格通知書」及び「入学手続書類」を送付します。合格発表日から3日を経過しても入学手続書類等が届かない場合は、入試広報センター（TEL 06-6318-2020）に問い合わせてください。

また、不合格通知については上記の合否結果照会での発表をもってこれに代えますので、「不合格通知書」の送付は行いません。ご了承ください。

なお、「入学手続書類等の未着」以外の合否に関する問い合わせには、一切応じられません。

検 定 料

一般選抜・社会人選抜	30,000円
------------	---------

※一旦納入された検定料は返還しません。ただし、次の事由に該当する場合は申請により返還することがあります。

- （1）検定料を納入したが、出願手続を完了しなかった場合
- （2）出願が受理されなかった場合
- （3）検定料を誤って二重もしくは過剰に納入した場合
- （4）学校保健安全法で出席停止が定められている感染症（インフルエンザ等）に罹患して受験ができず、他の入試種別への受験の振替ができなかった場合

出願に当たっての主な注意事項

- （1）出願後の入試種別の変更等は、一切認めません。
- （2）調査書等の提出書類が旧姓（名）の場合は、婚姻など、姓（名）が変わった理由を記載した理由書を添付してください。
- （3）書類に不備がある場合は、受理できないことがあります。
- （4）一旦受理した出願書類は、いかなる理由があっても返還しません。

障がい等のある志願者の出願について

- （1）障がい等のある方で、受験及び修学上特別な配慮を必要とする場合は、出願に先立ち、入試広報センター（TEL06-6318-2020）に相談してください。（各入試種別の出願期間開始日の1か月前まで。）
- （2）特別な配慮を希望する場合でもご希望に添えない場合もあります。ご了承ください。

受験に当たっての主な注意事項

デジタル受験票について

- ① デジタル受験票は出願期間の締切終了後、一括して作成し、インターネット出願時に志願者情報入力画面で入力したメールアドレス宛に「受験票ダウンロードメール」を送信します。
- ② デジタル受験票は原則として、「受験票ダウンロードメール」の通知を受け取った後、試験日が設定されている週の木曜日（9:00）からダウンロードが可能となります。試験日の2日前までに「受験票ダウンロードメール」が届かない場合は、入試広報センター（TEL 06-6318-2020）までご連絡ください。
- ③ デジタル受験票に記載されている入試種別、住所、氏名等の内容に誤りがないか確認し、誤りがあれば入試広報センター（TEL 06-6318-2020）に申し出てください。

試験場の下見について

- ① 試験場の下見は、試験前日までにしてください。（試験室の下見は、原則として認められません。）
- ② 試験場は、デジタル受験票に記載して通知します。デジタル受験票に記載する所在地を確認してください。

試験当日の注意事項

- ① デジタル受験票は試験当日までに印刷（A4サイズ）し、試験当日に必ず持参してください。（試験終了後、デジタル受験票はそのままお持ち帰りください。合否結果照会の際に受験番号が必要となります。）
- ② 試験当日は、集合時間（試験開始20分前）までに各自指定された試験室に入室し、机の上の受験番号がデジタル受験票の受験番号と同一であることを確認して、着席してください。
- ③ デジタル受験票を持参し忘れた場合には、受付に申し出て仮受験票の交付を受けてください。
- ④ 試験開始時刻に遅刻した場合は、原則として試験開始時刻後20分以内の遅刻に限り、受験を認めます。
- ⑤ 自動車、バイク等での試験場構内への乗り入れを禁止します。
- ⑥ 学校保健安全法で出席停止が定められている感染症（インフルエンザ、麻疹、水痘、新型コロナウイルス等）の感染防止のため、発熱・咳等の症状がある場合は、あらかじめ医療機関での受診をお願いします。

試験時間中の注意

- ① デジタル受験票は、必ず机の上に置いてください。
- ② デジタル受験票のほかに試験時間中、机の上に置けるものは、「黒鉛筆（HB・B・2B）」、「プラスチック製の消しゴム」、「鉛筆削り（電動式を除く。）」、「時計（計時機能だけのもの。）」、「眼鏡」です。
- ③ アラーム機能のついた時計は、試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除してください。
- ④ 携帯電話・スマートフォン・スマートウォッチ等の音の出る機器は、試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し、電源を切ってかばん等に入れておいてください。アラームは、設定を解除しないと電源を切っていても鳴ることがありますので十分注意してください。
なお、試験時間中にかばん等の中で携帯電話の着信音やマナーモードの振動音などが発生した場合には、監督者が本人の了解を得ずにかばん等を試験室外に持ち出し、試験場本部で当該試験時間終了まで保管します。
- ⑤ 「耳せん」は、監督者の指示等が聞き取れないことがありますので使用できません。
- ⑥ 試験室内で、コート類を着用しても差し支えありません。英文字等がプリントされている上着等は着用しないでください。着用している場合には、脱いでもらうことがあります。
- ⑦ 「ハンカチ」「ティッシュペーパー」「座布団」「ひざ掛け」「目簾」の使用を希望する者は、監督者に申し出て許可を受けてから使用してください。
- ⑧ 試験時間中に写真照合のためにマスクを外すよう指示があった場合は、マスクを一旦外してください。
- ⑨ 解答用紙の所定欄に受験番号等を監督者の指示に従い、必ず記入してください。受験番号が正しくされていない場合は、採点できないことがあります。
- ⑩ 試験時間中は原則として退室を認めません。試験中の発病又はトイレ等やむを得ない場合には、手を挙げて監督者の指示に従ってください。
ただし、一時退室が認められた場合でも、試験室以外での受験はできません。また、一時退室した分の試験時間の延長も認められません。
- ⑪ 試験時間中は、監督者の指示に従ってください。
- ⑫ 不正行為については、警察に被害届を提出する場合があります。

入学手続時納入金及び学費等【令和8年度（2026年度）予定】

科 目	1 年次所要経費			2 年次所要経費
	入学手続時納入（前期）	1 0 月納入（後期）	年 額	年 額
入 学 金	200,000 円	—	200,000 円	—
授 業 料	300,000 円	300,000 円	600,000 円	600,000 円
施 設 費	75,000 円	75,000 円	150,000 円	150,000 円
合 計	575,000 円	375,000 円	950,000 円	750,000 円

別途、実験や実習にかかわる実費を徴収する場合があります。

※入学手続時納入金及び学費等については参考であり、変更の可能性があります。

実習種別	納入金額	納入時期及び金額		
		1 年次	2 年次	
公認心理師実習	162,000 円	108,000 円	前期	後期
			54,000 円	—

※公認心理師実習を希望する者の1年次実習費については、本学が指定する期日までに納入してください。

納入金の返還について

本学では、一般選抜及び社会人選抜の合格者で、すべての入学手続が完了した者であっても、令和8年3月31日（火）までに入学辞退届の提出（郵送による提出の場合、3月31日必着）があった場合、入学金を除いた授業料等の納入金を返還します。

なお、入学金（200,000 円）は、いかなる理由があっても返還しません。

奨学金制度

（1）日本学生支援機構

日本学生支援機構による奨学金制度

①第一種（無利子貸与）

②第二種（有利子貸与）

- 募集時期 4 月
- 選考方法 学内で書類審査し、日本学生支援機構に推薦（最終選考は日本学生支援機構）
- 貸与金額 ●第一種 月額50,000 円又は88,000 円
●第二種 月額50,000 円、80,000 円、100,000 円、130,000 円、150,000 円
の5種類から選択が可能
- 返還方法 卒業後、口座振替で月賦、月賦・半年月賦併用または年収に応じて算出された返還額（第一種のみ）のいずれかから選択（日本学生支援機構の規程）

授業料後払い制度

大学院修士課程の在学中の授業料について、日本学生支援機構が立て替え、返還は修了後の所得に応じた後払いとする仕組みです。申込み等の詳細は本学庶務課（TEL:06-6381-3000）までご照会ください。

※本制度の利用者は、日本学生支援機構による奨学金制度 第一種の利用はできません。

※本制度を利用する場合、本学学費のうち授業料の納入を猶予します。

（2）その他の奨学金

その他、地方自治体（都道府県・市町村）の奨学金制度や民間団体等の奨学金制度があります。募集案内があれば、随時、掲示にて連絡します。

教育ローン

（1）国の教育ローン（日本政策金融公庫）

- ①融 資 額 学生1人につき350万円以内
- ②返済期間 18年以内
- ③返済方法 毎月元利均等返済（ボーナス月増額返済も可能）
- ④申 込 み 日本政策金融公庫のほか、銀行、信用金庫、信用組合などの窓口でも取り扱っています。
詳しくは、教育ローンコールセンター TEL 0570-008656 に問い合わせてください。

（2）オリエントコーポレーション学費サポートプラン

学費負担者に代わり、オリコが学費を一括納入し、毎月所定の金額を返済する制度です。

- ①ウェブ又は電話での申込みが可能です。（オリコへの来店不要）
- ②原則として住民票等の公的書類及び所得が確認できる資料は不要です。
- ③返済は口座振替で、新規の口座開設は不要です。（ゆうちょ銀行も可）
問合せ先／申込み先 オリコ学費サポートデスク TEL 0120-517-325

※上記ご案内はあくまで一例であり、ご利用については、学費負担者においてご検討ください。

長期履修制度

（1）長期履修制度のご案内

この制度は、職業を有する等の事情により、年間に履修できる単位数や研究・学習活動に充てられる時間が限られているため、標準修業年限（2年）では大学院の教育課程の履修が困難な学生を対象に、3年又は4年の期間にわたり、計画的に教育課程を履修し修了することにより、学位の取得を可能とする制度です。

（2）申請資格

長期履修生として申請することができる者は、入学資格を有する者のうち、次のいずれかに該当する者です。

- ①職業を有し、就業している者（正規雇用者に限らず、主として当該収入により生計を維持している者）で、著しく学習時間の制約を受ける者
- ②家事、育児、長期介護等により、著しく学習時間の制約を受ける者

（3）履修期間

- ①長期履修期間は3年又は4年のいずれかとします。
- ②長期履修の開始時期は、入学時点とし、学年の途中から開始することはできません。
また、履修期間は延長できません。
- ③休学期間は、履修期間に算入しません。

（4）履修期間の短縮

長期履修期間中に状況の変化や事由の解消などが生じた場合は、学長の許可を得られれば、長期履修期間を1年単位で短縮することができます。
なお、短縮することによって生じた授業料の差額は、短縮が許可された年度内に納入してもらうことになります。

（5）長期履修制度に係る授業料

- ①標準修業年限分の授業料等総額に相当する額を長期履修期間で除した額を年度ごとに納付してください。ただし、在学中に授業料の改定がある場合及び長期履修期間の変更が認められた場合は、授業料を再計算することになります。
- ②長期履修生については、授業料の延納、分納の制度は適用されません。
- ③除籍対象となる場合を除き、長期履修期間を終了してもなお修了できずに在学する学生の授業料の額は、長期履修生以外の学生が納付する授業料と同額になります。

〈計算式〉

1年あたりの授業料等＝（通常の授業料年額＋施設費）×標準修業年限÷長期履修期間

※令和8年度入学生（令和7年4月1日現在）

- 履修期間が3年の場合
(600,000円＋150,000円) × 2年 ÷ 3年 = 500,000 円
- 履修期間が4年の場合
(600,000円＋150,000円) × 2年 ÷ 4年 = 375,000 円

（6）履修計画

長期履修生の授業科目については、指導教員から十分な指導を受け、計画的に柔軟な履修計画を立てるように努めてください。

（7）履修登録単位数の制限

長期履修生が履修登録できる1学年当たりの単位数は、履修期間が3年の場合は20単位を限度とし、履修期間が4年の場合は15単位を限度とします。
ただし、特別の事情のある場合については、この限りではありません。

（8）申請手続

長期履修生を希望する受験者は、出願時に他の必要書類に加えて次の書類を提出してください。

- ①長期履修申請書（本大学院所定の用紙については本学ホームページよりダウンロードしてください）
- ②「職業を有し、就業している」ことを申請理由とする場合は、在職証明書又は在職が証明できる書類

個人情報の取扱いについて

本大学院では、志願者から入手した個人情報の取扱いについて、下記のとおりとします。

- （1）出願により入手した住所、氏名、その他の個人情報については、①出願に不備等があった場合の連絡 ②合否の連絡 ③合格した場合の入
学手続書類や、入学宣誓式等の案内の送付・連絡 ④入学後の各種案内の送付・連絡 ⑤入学後のクラス編成、クラス名簿作成を行うため
に利用し、それ以外の用途には一切使用しません。
- （2）個人を特定しない形での統計処理結果については、パンフレット、ホームページ等で公表します。